



Interview

Hoshino Junko

Profile ほしの・じゅんこ

新潟県長岡市出身、本町在住。上村愛子さんに憧れ、小学校6年生の時にモーグルを始める。学生時代は毎週末に片道4時間かけて新潟から町内のリステルスキーファンタジアへ通う。その縁から長治観光株式会社に就職。練習の合間には勤務先であるホテルリステル猪苗代で仕事に従事している。2013-14シーズンのワールドカップで初の表彰台となる3位に入り、ソチ五輪に出場。2016年に左膝前十字靭帯断裂の大けがを負い、惜しくも平昌五輪の出場を逃したが、2018-19シーズンは自身最高位のワールドカップスタンディングス8位となり、SAJの優秀選手賞を受賞。2020年2月のワールドカップ秋田たざわ湖大会で2位となり5年ぶりの表彰台に。2022年2月の北京で8年ぶりの五輪の舞台に立つ。



Pick Up

今月の話題

星野純子選手 オリンピック出場を報告

出場を報告した星野選手（前列中央）ら

2月に開かれた北京冬季オリンピックフリースタイルスキー女子モーグルに出場した星野純子選手（チームリステル所属〓本町在住）は2月24日、町役場を訪れ、前後公町長に出場を報告しました。ソチ大会以来8年ぶり2回目のオリンピック出場となった星野選手。予選を6位で通過し、迎えた決勝の1回目。序盤でターンが乱れますがその後は持ち直し、果敢にコブを攻め続けます。しかし得点を伸ばすことができず、惜しくも敗退となりました。

集大成。オリンピックの前から口にしていたその思いを、星野選手は最高の舞台で表現しました。

星野選手は報告会で「応援してくれる皆さんに喜んでもらえるような滑りをしたいとレースに臨みました。町民の皆さんの応援が力になりました」とあいさつ。前後町長は「猪苗代町がフリースタイルスキーの聖地となれるよう、今後は子どもたちへの指導などをお願いします」と話し、星野選手に花束を手渡ししました。

星野選手は感謝の気持ちを込めて、町にサイン入り写真パネル2枚を寄贈しました。

— どのような心境で北京オリンピックに臨みましたか？
ソチ大会の時は初めてのオリンピックということで、緊張で何も覚えていないんです。もっと大会を楽しみたいという気持ちがありました。今回は、オリンピックの雰囲気や自分の気持ちを記憶しておけるような大会にしたいと思っています。そして、悔いなく滑りたいという思いで大会に臨みました。

— 大けがを乗り越えて北京オリンピック出場を果たしました。苦しい時期に星野選手を支えたものは何ですか？
一番はモーグルが大好きということです。大けがとは言え、スキーやスノーボードの選手にはよくあることなので、このけがが原因で辞めなければいけないとかは考えませんでしたし、まだまだできるという気持ちもありました。また、所属先のリステルの皆さんからの応援もとても励みになりました。

— 予選のレース直後には笑顔も見られましたね
久しぶりのオリンピックのスタートに立ち、うれしい気持ちもありましたが、あまり

オリンピックだからということ意識しすぎずに、気負わず、普段の大会どおりスタートを切ろうと思いました。

— 予選での滑り自体にはミスもありましたが、点数が思っていたより伸びていたので良かったです。

— そして決勝の1回目に進みました
女子決勝の前日に男子の予選2回目と決勝がありました。予選が終わってから2日間空いていて、その間に男子が滑り、コース状況に変化がありました。コブの状態が予選の時とかなり違っていて、大きく深く掘れ、少し難しくなっている印象がありました。練習ではすぐ上手くいっていましたが、調子も悪くはなかったんですが、少し緊張していたかなと思います。自分が持っているものを全て出し切って滑ろうと思って臨みました。少しミスが出てしまっって、「ここをもう少しこういう風にできたら良かったのに」と思うと少し悔しかったです。

— 人工雪のコースで、気温もかなり低かったようですが、普段のワールドカップのコースとの違いはありましたか？

人工雪100%のコースは中国くらいなんですけど、寒すぎることもあってスキー板があまり走らないのと、エッジが引つかかるような感じがありました。ただ、練習で滑るにつれて慣れてきていたので特に気になりませんでした。

— 今後の予定を教えてください
ワールドカップにはもう出場しません。3月21日に北海道で開かれる全日本スキー選手権が現役最後の大会となる予定です。

— 選手を引退しても引き続きリステルに勤務しますが、今後のことはまだ決まっています。せっかくスキーをやってきたので、何か生かせる方法が見つかればいいなと思っています。

— 町民の皆さんにメッセージをお願いします
猪苗代町に住んでから10年目になり、私の第二の故郷です。いつも皆さんに応援していただいていた、声を掛けていただいたり、温かく見守っていたいただいて本当にありがたい気持ちです。

— 応援ありがとうございます

まちの応援マガジン いなわしろ

広報猪苗代

Mar.2022
3
No.737

今月の表紙

北京冬季五輪の出場を前後町長に報告した星野純子選手です。星野選手は、町にサイン入りのパネルを寄贈しました。



【撮影日】 2月24日
【撮影場所】 町役場

Contents — 【目次】

- 02 Pick Up
- 03 星野純子選手インタビュー
- 04 まちのわだい
- 06 ごみの出し方について
- 08 後期高齢者医療制度に関するお知らせ
- 12 いなわしろタウンページ
- 18 暮らしの情報広場
- 20 みんなの美術館／食生活改善推進員コーナー